

第13回 日本外来小児科学会 予防接種委員会 議事録

日時：2013年3月20日（水）12:00-15:30

場所：ホテル新大阪 東口ステーションビル

出席者：永井崇雄、岡藤隆夫、落合 仁、藤岡雅司、宮崎千明、横田俊一郎、
吉川哲史、渡辺 博、

欠席者：武内 一、田原卓浩、寺田喜平、宮田章子

[報告事項]

1. 2012年決算と2013年予算、勤務医委員への交通費支給の件（藤岡）
 - ・ 2012年決算：12回（7/16）32,443円、13回（3/20）32,400円、システム検討会（100,000円）、2013年3月末残高456,377円
 - ・ 2013年予算案：300,000円（会議費200,000円、システム検討会100,000円）
 - ・ 勤務医委員（5名）に対しては交通費を支給する（JR交通費相当額として、2011年7月第10回委員会から遡れば、総計222,760円）。
2. 予防接種委員会の研究の現状報告（岡藤）

「MRワクチンの発熱率調査」論文が外来小児科誌 16巻1号に掲載予定。
3. 本年の第23回年次集会（福岡）について
9月1日午前にコメディカル対象のセミナーが企画され、座長は岡田賢司先生と藤岡副委員長の予定。
4. Hib、PCV7、HPV ワクチンの定期接種への導入に伴う、予防接種法改正後の費用負担について
 - ・ 現行の予防接種法での定期接種は、接種費用については2~3割程度（低所得者分）を地方交付税で手当し、残りは実施主体である市町村の自主財源であったが、実際にはほとんどの市町村では被接種者から実費を徴収していなかった
 - ・ 特例交付金による3ワクチン接種事業は接種費用の9割が国庫負担（その半分を都道府県設置の基金から、残り半分は地方交付税措置）であ

った

- ・ 4月の予防接種法改正後は、3ワクチンも定期接種となり、従来からのものも含め、一類疾病定期接種については接種費用の9割を地方交付税で手当とする。市町村により対応が異なる。東京多摩地区では実費徴収予定と報道されている。

5. 厚生科学審議会感染症分科会予防接種部会、予防接種推進専門協議会、日本小児科学会予防接種・感染対策委員会などにおける最近の議論の方向性について（宮崎）

- ・ 予防接種部会が予防接種・ワクチン分科会に格上げになり、厚生労働省内の組織ではあるものの、健康局と医薬食品局の両方が関与している。
- ・ 予防接種法改正により、閣議決定でA類に加えB類疾病も追加ができるようになる。副反応報告の規定が加わり義務となる。厚労大臣は予防接種基本計画を策定する義務があり、厚生科学審議会（予防接種・ワクチン分科会）の議論の意見を聴かなければならなくなった。
- ・ 政令、省令、通知（予防接種実施要領）の変更については4月以降になると予想される。
- ・ 水痘、ムンプス、B型肝炎、23価肺炎球菌の4ワクチンについても附帯決議の扱いになったので比較的早く定期接種になる可能性が出てきた。
- ・ A型肝炎ワクチンについては追加試験を行うことなく添付文書が改訂された。他のワクチン（例：DPT ワクチン）との取り扱いに大きな差があるが、その理由は明らかにされていない。
- ・ 定期（政令）や間隔（省令、通知）の解釈については変わっていない。

6. 日本小児科医会、日本医師会などの関連した動きについて（横田）

- ・ 日本小児科医会：予防接種事故に対する報道、多額の事務費徴収の件
- ・ 日本医師会：予防接種定期化の署名数は前回より少なかったが、今回の国の動きの後押しとなった。

7. 予防接種システム検討会について（藤岡）

- ・ 2012年11月4日に近畿外来小児科学研究会と共催した。
- ・ 2013年も地方会との共催を予定している。

8. 予防接種教育の資材作成について（落合）

パスツールやジェンナーなどの歴史的 content も加味して、武内、落合で検討中。

[協議事項]

1. 接種手技、接種部位、接種回数などについての会員への、継続した意識調査、実態調査の提案。調査の実施が結果的に啓蒙になる。

- ・ 筋注、大腿への接種など、接種方法や部位の変更に関する対応。
- ・ 水痘、ムンプスなど任意接種のワクチンの複数回接種の実施状況。
- ・ 筋注のワクチンが今後受け入れられるかどうかは、国際的に見たわが国のワクチン普及における課題。
- ・ 同時接種が拡大すると上肢以外への接種も考慮される必要があるが、わが国では、筋注や大腿などへの接種は歴史的に抵抗がある。

調査項目は永井委員長が項目を検討。

2. Hib、PCV7、HPV ワクチンの定期接種への導入に伴う、各自治体の対応についての調査

- ・ 特に、高価なワクチンの購入方法の実態について（医療機関が購入する形式だと、消費税負担が大きい）。

日本小児科医会が調査予定（ワクチン現物給付の委託料か、ワクチン代込の委託料か、実費を徴収するか否か等

3. 個別のワクチンについて

1) 風しん対策について

20代以上の未接種者への自治体による公費負担の動き（東京都内）

臨時接種の要望書を作成（藤岡）

2) 水痘、ムンプス、ロタワクチンの定期接種化に関して

附帯決議がついたので水痘、ムンプスは1年後か？

ロタウイルスワクチンはファクトシート作成中

3) その他の課題

4. 新たに牟田広実、中村豊の両氏を委員として招請。
5. 日本外来小児科学会役員会への次年度予算の計上など
前掲
6. 次回の委員会開催予定
7月から8月前半、12時半開始を検討